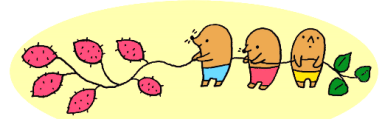


美々津中学校便り



10月号

文責：鈴木利明（校長）

読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋と何をするにも素敵な季節になり、日本の四季の素晴らしさを感じています。学校でもコロナ禍の中ではありますが、三密を避け、感染対策をしっかりとした上で行事を行っています。そして、ホームページにも掲載していますが、「スポーツフェスタ2021」も盛り上がることができました。

先日、平成の怪物と呼ばれた松坂大輔投手が引退しました。甲子園では、延長17回を1人で投げ抜いたり、決勝戦ではノーヒットノーランをしたり、輝かしい実績をもって西武ライオンズに入団しました。海外に行っても活躍しましたが、球場で怪我をした事で、思うようにボールが投げられなくなり、リハビリを続けましたが、引退をすることになりました。最後のマウンドで投げたストレートの速さは、中学生と同じぐらいのスピードでした。毎年、数多くの選手が球団から解雇される中、どうして、怪我で投げられなくなり、なかなかマウンドにも立てなくなった選手が、何年もプロ野球の世界に残ることができたのでしょうか。それは、実績だけではなく、人柄だと思います。松坂投手がテレビで紹介されたり、インタビューされる時、いつも笑っている印象があります。これまでの努力は中途半端ではなかったはずです。見えないところでの苦労も多々あったと思います。辛いときにもファンを大切に、人の前では表情に出さない。もちろん、これだけでは無いと思いますが、そんな人柄が身に付いていたからこそ、ここまで現役を続けられたのではないのでしょうか。つまり、人から応援される投手だったということです。結果がすべてだという考え方もありますが、長い目で見たとき、その結果は、瞬間の出来事にしかすぎません。だから、皆さんにはいつも応援される人になって欲しいと思っています。そのために、身に付けなければならないことは、たくさんありますが、まずは、人を応援することです。出入り口の法則と言って、出て行く方が先です。与えることが先です。友達が頑張って結果を出した時には、自分のことのように喜び、失敗した時や苦しい時、辛い思いをしている時には、暖かい言葉を掛け、応援してあげてください。

コロナ禍の影響を受けながら、生活を続けています。いずれは、コロナも収まりマスクを取って、コロナが流行する前の生活が戻ってくると信じています。私達はこのコロナ禍で辛い生活を背負ってきた証人です。だからこそ今、大切にしなければならないことは何か、何を、誰を、応援しなければならないかを考えてください。応援してもらえては、とても幸せなことだと信じています。

スポーツフェスタ2021



天候が心配されましたが、朝のうちに雨も上がり、たくさんのボランティアのお陰で、グラウンドを整備し、プログラムの入れ替えはあったものの、無事に開催することができました。3年生を中心に世話役も含め生徒達の力で創り上げたフェスタになりました。たくさんの御家族の皆さんにも御参加いただきました。ありがとうございました。

中学校体育大会秋季大会結果



【団体戦】

- 女子バレー部 優勝 県大会へ
- 男子卓球部 2位 県大会へ
- 女子ソフトテニス部 3位
- 軟式野球部（東郷中と合同チーム）
1回戦敗退

【個人戦】県大会出場生徒（敬省略）

- 男子卓球部
富山雄己（1年）
河野輝大 小林道夫 橋本暁弥
（3名は2年）
- 女子ソフトテニス
寺坂七海・竹添そらペア（2年）

生徒会立会演説会・投票・新役員



【生徒会新役員】（敬称略）

- 会長： 河野輝大
- 副会長：辻本一之介
- 書記： 海野結愛

【新全校専門委員長】

- 学習：橋口尚季
- 生活：長埜蓮
- 健康：橋本暁弥
- プログラム：小林道夫
- チームとしての活躍を期待しています。

避難訓練（2次避難所へ）



毎学期実施している避難訓練を20日に行いました。今回は2次避難所（JA 美々津支店）まで行きました。いつ起こるか分からない大地震と津波。だからこそ、まずは、正しい知識を身に付けることです。緊急事態が生じたときに、気象庁から発信された情報を理解できないと判断を誤ってしまい、命に関わってきます。そのために、いつもアンテナを立てて、何があっても慌てないように訓練が必要なんですね。

☆学校の様子やこれからの予定につきましては、美々津中学校ホームページを御覧ください。